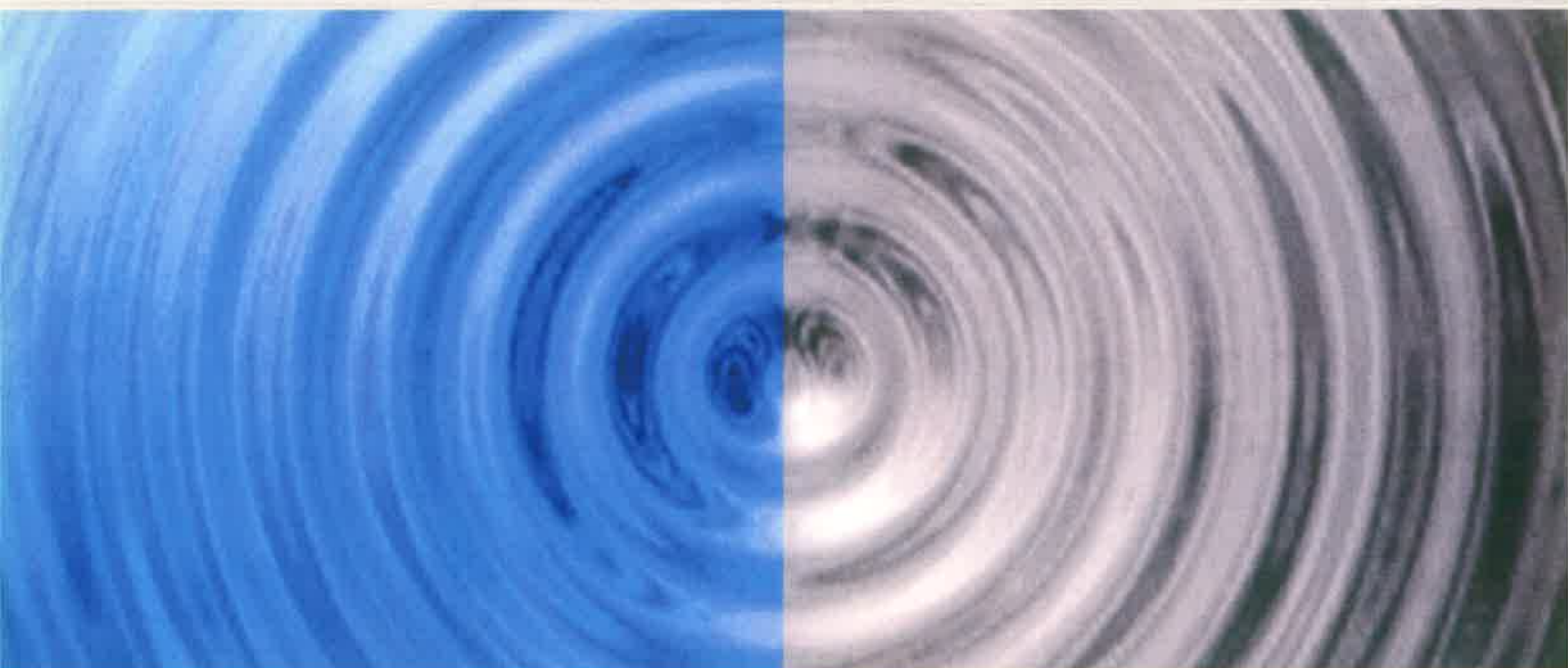


油面・湿潤面・油潤面でも直接施工できます

オイルコート

2成分型エポキシ樹脂



MIC
mol chemical

モルケミカル株式会社

オイルコート

2成分型エポキシ樹脂

オイルコートは乾燥面はもちろん、油の染み込んだコンクリート面・アスファルト面・アスファルトコンクリート面・エポータル面などの油面や、水で濡れている面（湿潤面）、あるいは油面でしかも水で濡れている面（油潤面）にも、プライマーの必要がなく、直接施工することの出来る2成分型のエポキシ樹脂です。

道路、ダム、橋梁などの土木構造物の管理用補修剤として、油タンクの防油提の保護塗料として、各種工場の機械室、エレベーターピット・厨房・青果市場・食品工場の床材あるいは防水材として、雑排水槽や廃水処理水槽の内部防水材として、などの幅広い用途があります。

油面に対する従来工法では、表面の完全な脱脂、油面プライマーの塗布、油の染み込んだ部分のハツリ等の面倒な下地処理が必要になりますがオイルコート工法ではこのような工程が省略できるので、工期の短縮と経費の節減が、可能になります。

特長

★プライマーの必要がありません。

オイルコートは乾燥面はもちろん、油面、湿潤面、油潤面にも直接施工することが出来ます。

★各種の材料に強力に接着します。

コンクリート、石材、アスファルト、アスファルトコンクリート、金属、プラスチック（一部を除く）などの材料に接着します。

★防水性・耐候性に優れています。

オイルコートは吸水率、蒸気透過率に優れ、また促進耐候試験においても、ふくれ、はがれ、ひびわれ等の損傷がありません。

★耐薬品性に優れています。

★耐衝撃性に優れています。

種類・荷姿

種類	容量	色相
ペイント	3kgセット	白
	15kgセット	灰色

ペイント3kgセット



便利さを演出するのは技術です

基本物性

項目	種類	ペイントライニング用	
		主 剤	硬化剤
規格		油潤面硬化型	
種類		変性エポキシ樹脂	
外観 (基本色)		白色	白色
色相 (基本色)		白色	
溶剤の有無		無	無
混合割合		2	1
比重		1.37	1.32
粘度 (PS・25℃)		20	30
可使時間 (25℃)		130 分	
指触時間 (25℃)		4 時間	

硬化物性

項目	種類	ペイント	試験方法
引っ張り強さ (Kgf/cm ²)		86	JISK-7113
圧縮強さ (Kgf/cm ²)		99	JISK6119519
硬さ	ShoreA	99	
	ShoreB	65	
鉛筆引っかき試験		HB	JISK5400614
伸び %		14	
耐沸騰水		6HR 異常なし	
塩水噴霧試験		240HR 異常なし	JISK-5400
耐候試験		240HR 異常なし	JISA1416 に準拠

付着力

種 類		付着力 (Kgf/cm ²)
		ペイント
コンクリート	乾燥面	> 30
	油 面	> 30
	湿潤面	> 30
	油潤面	> 30
アスファルト	乾燥面	25母材破壊)
	湿潤面	25母材破壊)
アスファルト コンクリート	乾燥面	28
	湿潤面	27
鋼 板	乾燥面	> 30
	油 面	25

*油面は、鉱物油と植物油で測定

*油潤面は、植物油を塗布・浸透後、散水してから測定

〔 長寿の基本は
適切な管理です 〕

防水剤として

排水槽

廃水処理装置

下水処理

ELV.ピット

側溝その他

省力施工で水も漏らさぬ防水効果！

施工方法

下地処理

1. 施工面の付着物、汚れ、劣化部分、錆び（鉄）を高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで除去して下さい。
2. コンクリート構造物でクラックがある場合はVカットしてオイルコートで充填して下さい。
3. 止水が必要な場合は、急結セメントなどで完全に止水してから塗装して下さい。
4. 施工面の凹凸が激しい場合は、オイルコートで不陸調整して下さい。
垂直面の不陸調整はオイルコートとM-8程度の珪砂を混練したものを使用して下さい。

混 合 塗 装

1. 混合率
主剤 (A) : 硬化剤 (B) = 2:1
2. 混合時間 3分間以上
* 混合には塗料攪拌用のミキサーが便利です。

1. 塗装方法 ゴムベラでシゴクように塗装して下さい。
2. 塗装回数 追いかけて2回
1回目の塗膜が硬化しないうちに2回目を塗装して下さい。
3. ノンスリップ仕上げにする場合は、塗膜が硬化しない内にM-6程度の珪砂を散布、硬化後余分な珪砂を除去してから、トップコートで仕上げして下さい。
* トップコートはエポキシ系樹脂塗料が適当です。

注意事項

- ※冬季の気温が低い場合は、オイルコートを常温に暖めるか、硬化促進剤を使用して下さい。
促進剤の添加量は3%以内です。

取り扱い上の注意

- 未硬化のものを目や皮膚に付着しないように注意して下さい。
万が一、目や皮膚に付着した場合は、よく水洗いし、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 直射日光を避けて、冷暗所で保管して下さい。
- 取り扱い後は、手洗いを充分にして下さい。
- 子供の手の届かない所で保管して下さい。



MOL モルケミカル株式会社

〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-9-8-205

TEL (03) 3634-3961

FAX (03) 3634-3962

U.R.L : <http://www.mol-chemical.co.jp/>

E-mail : mol.c@d6.dion.ne.jp